

言葉がわかると、世界が広がる

市民向け国際交流講座や学習塾の講師として、英語を教えている遠山さん。現在の活動や外国語をマスターするためのコツ、今後叶えたい夢について伺いました。



と お や ま み ら い
遠山 未来さん (井土巻二丁目)

- 燕市国際交流協会 「大人のための英語塾」 講師
- 英語講師 (市内学習塾)

▶ 英語に加え、トルコ語も話せるという遠山さん。講座を通し外国語を学ぶことの楽しさを伝えています。



「ニュースやドラマを観ること。好きな音楽を聞くこと。それを外国語に置き換えると、机に向かわなくても手軽に語学学習できるんです」

そう話すのは英語講師として働く遠山さん。自身の豊富な語学経験をもとに開催する講座は、楽しみながら英語を学ぶことができる、幅広い年代から好評を得ています。

「現在、大人向けに開催している講座では、『洋楽』や『スピーチ』を題材にしています。ストーリーや伝えたいことがシンプルで明確なモノを選び、意味を理解しながら学習していくことが外国語の定着につながります」

外国人と話す機会も多かった前職(外資系化粧品販売)での経験を生かした

いと、新潟へのUターンを機にはじめた英語講師。市外出身の遠山さんが燕市を選んだのには理由がありました。

「燕市は企業が多く、海外との交流も盛んなまちです。将来は、そんな燕市と海外をつなぐ『通訳』として、海外の人たちをおもてなししたいです」

最後に、「私は英語講師ですが…」と前置きしつつもこう続けました。

「決して『外国語』英語』ではありません。ぜひ、皆さん自身が興味を持った言語を学んでみてください。新たな世界や人と、自分をつないでくれるものが『言葉』です。燕市が多様な文化や言語に触れる機会を身近に持っているようになるよう、私自身も国際交流事業に積極的に参加していきたいです」

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



6月25日、2020年国勢調査の速報値が発表されました。2020年10月1日時点の燕市の人口は7万7234人で、前回の2015年調査より、2550人減り、減少率は3.2%でした。

ちなみに新潟県全体では10万1906人減、減少率4.4%で、減少数、率ともに過去最大でした。

燕市の減少率は、唯一増加した聖籠町も含めた県内30町村の中では、4番目に低い状況です。

「燕市は頑張っている方だ」と捉えることもできますが、これに満足してはいけません。

引き続き「住みたい、働きたい」と思う人を増やすための各種施策を展開していきます。

おかげさまで県央エリアご利用10,000世帯

超高速光インターネット

NCT光

好評受付中!

NCTなら 標準工事費 **0円**※1

最大 **2万円** キャッシュバック※2

※1: 工事内容により、別途追加工事費が発生する場合がございます。
※2: お申し込みのコース・内容により、適用できない場合がございます。
※各種キャンペーンの適用には条件がございます。

インターネット・ケーブルテレビ・電話

エヌ・シー・ティ 0120-080-009 【電話受付】9:00~18:00(ドコモ光タイプCに関しては10:00~19:00)

QRコード

※この広報紙は、環境にやさしいペジタブル・オイル・インクを使用しています。